記者発表資料

平成３０年度
東北地方整備局の事業概要

平成３０年３月３０日
東 北 地 方 整 備 局

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、青森県政記者会、
岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ＞

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　　TEL　022-225-2171（代）

総　　括	：	企画部　企画課長	舘澤（たてさわ）　清城（きよしろ）　（内線 3151）
都市・住宅関係	：	建政部　都市・住宅整備課長	小林（こばやし）　孝（たかし）　（内線 6161）
河　川　関　係	：	河川部　河川計画課長	奥中（おくなか）　智行（ともゆき）　（内線 3611）
道　路　関　係	：	道路部　道路計画第一課長	舟波（ふなみ）　昭一（しょういち）　（内線 4211）
港湾空港関係	：	港湾空港部　港湾計画課長	前田（まえだ）　直久（なおひさ）　（内線 6314）
営　繕　関　係	：	営繕部　計画課長	小谷（こたに）　寛之（ひろゆき）　（内線 5151）
会　計　関　係	：	総務部　会計課長	荒井（あらい）　哲治（てつじ）　（内線 2411）

目　　次

平成３０年度事業のポイント　・・・・・・・・・・・Ｐ１

東北地方整備局関係予算総括表　・・・・・・・・・・Ｐ２

平成３０年度事業のポイント（詳細）　・・・・・Ｐ５

資料－１　被災地における基幹インフラの整備

資料－２　震災伝承のための取り組み

資料－３　激甚化する水害・土砂災害等への備え

資料－４　安全・安心な通行の確保と急速に進む老朽化の対策等

資料－５　生産性向上による成長力の強化

資料－６　トラック・バス渋滞ポイントにおける対策

資料－７　「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」の推進

（参考）平成３０年度の
道路調査の見通しについて　・・・・Ｐ１２

新規事業化箇所　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１３

完成・開通予定箇所　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２０

別　冊　：　資料編（主要継続事業箇所）

■平成３０年度事業のポイント

「東日本大震災からの復興・創生」、「国民の安全・安心の確保」、「生産性向上による成長力の強化」に重点的に取り組み、『元気で明るい東北の実現』を目指します。

○ 東日本大震災からの復興に向けて、道路、河川、港湾等基幹インフラの整備を着実に推進します。また、大震災の教訓伝承と風化防止への取り組みを推進します。

（資料－１、２）

○ 激甚化する水害・土砂災害等に備えるため、防災意識社会への転換を図りつつ、ハード・ソフトを総動員した防災・減災対策を推進します。また、加速するインフラの老朽化への対策を推進します。

（資料－３、４）

○ 安全で円滑な物流等のための道路ネットワーク構築や、地域の基幹産業を支える港湾施設の整備など、ストック効果を重視した生産性向上に寄与する社会資本整備を推進します。

（資料－５、６）

○ ＩＣＴ活用などによる建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」の推進や、建設業の担い手確保に向けた「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」を推進します。

（資料－７）

東北地方整備局関係　平成30年度予算総括表

■総　　額

			前年比	H29当初
事業費	9,066	億円	[0.96]	(9,478 億円)
直轄	4,181	億円	[0.92]	(4,556 億円)
補助	4,885	億円	[0.99]	(4,921 億円)
うち、社会資本総合整備	4,351	億円	[0.99]	(4,395 億円)

■一般会計

事業費	5,172	億円	[1.03]	(5,039 億円)
直轄	1,838	億円	[0.98]	(1,883 億円)
補助	3,334	億円	[1.06]	(3,156 億円)
うち、社会資本総合整備	2,930	億円	[1.06]	(2,768 億円)

■東日本大震災復興特別会計

事業費	3,895	億円	[0.88]	(4,439 億円)
直轄	2,343	億円	[0.88]	(2,674 億円)
補助	1,551	億円	[0.88]	(1,765 億円)
うち、社会資本総合整備	1,422	億円	[0.87]	(1,627 億円)

※ 工事諸費等は除く。

※ 上記のほか
　国庫債務負担行為（ゼロ国債）として150億円
　直轄の災害復旧費として70億円がある。

※ 端数処理の関係上、合計値と一致しない場合がある。

東北地方整備局関係　平成30年度予算

【一般会計】

（合　計）

単位：百万円

	平成30年度 当初予算 （A）	平成29年度 当初予算 （B）	前年比 （A/B）	国庫債務 負担行為 （ゼロ国債）
治水	77,807	75,607	1.03	4,306
海岸	569	625	0.91	－
道路整備	126,669	128,763	0.98	10,677
港湾整備	4,757	5,326	0.89	－
空港整備	721	1,031	0.70	－
住宅整備	9,438	10,034	0.94	－
市街地整備	931	2,023	0.46	－
都市水環境整備	1,781	1,899	0.94	－
下水道	312	273	1.14	－
国営公園等	776	790	0.98	－
社会資本総合整備	292,956	276,822	1.06	－
官庁営繕	450	710	0.63	34
合計	517,167	503,903	1.03	15,017

（直轄事業）

	平成30年度 当初予算 （A）	平成29年度 当初予算 （B）	前年比 （A/B）	国庫債務 負担行為 （ゼロ国債）
治水	54,965	56,653	0.97	4,306
海岸	569	625	0.91	－
道路整備	119,801	121,381	0.99	10,677
港湾整備	4,727	5,166	0.92	－
空港整備	721	1,031	0.70	－
都市水環境整備	1,781	1,899	0.94	－
国営公園等	776	790	0.98	－
官庁営繕	450	710	0.63	34
合計	183,790	188,256	0.98	15,017

（補助事業）

	平成30年度 当初予算 （A）	平成29年度 当初予算 （B）	前年比 （A/B）
治水	22,843	18,954	1.21
道路整備	6,868	7,382	0.93
港湾整備	30	160	0.19
住宅整備	9,438	10,034	0.94
市街地整備	931	2,023	0.46
下水道	312	273	1.14
社会資本総合整備	292,956	276,822	1.06
合計	333,377	315,648	1.06

※工事諸費等は除く。

※上表の他、直轄（河川、港湾）の災害復旧費として354百万円がある。

※端数処理の関係上、合計値と一致しない場合がある。

東北地方整備局関係　平成30年度予算

【東日本大震災復興特別会計】

（合計）　　単位：百万円

	平成30年度 当初予算 （A）	平成29年度 当初予算 （B）	前年比 （A/B）
治水	6,287	6,847	0.92
道路整備	213,893	245,190	0.87
港湾整備	24,936	27,922	0.89
国営公園等	2,192	1,237	1.77
社会資本総合整備	142,157	162,658	0.87
合計	389,466	443,854	0.88

（直轄事業）

	平成30年度 当初予算 （A）	平成29年度 当初予算 （B）	前年比 （A/B）
治水	6,287	6,847	0.92
道路整備	201,221	231,930	0.87
港湾整備	24,636	27,342	0.90
国営公園等	2,192	1,237	1.77
合計	234,337	267,356	0.88

（補助事業）

	平成30年度 当初予算 （A）	平成29年度 当初予算 （B）	前年比 （A/B）
道路整備	12,672	13,260	0.96
港湾整備	300	580	0.52
社会資本総合整備	142,157	162,658	0.87
合計	155,129	176,498	0.88

※東日本大震災復興特別会計は復興庁所管である。

※工事諸費等は除く。

※上表の他、直轄（河川）の災害復旧費として6,632百万円がある。

※端数処理の関係上、合計値と一致しない場合がある。

被災地における基幹インフラの整備

東日本大震災からの復興に向けて、道路、河川、港湾等基幹インフラの整備を着実に推進します。

○復興道路・復興支援道路

～ 仙台－釜石間の約9割が開通へ ～
～ 釜石－花巻間が全線開通へ ～

【H30 開通予定】
吉浜釜石道路
吉浜IC
～釜石JCT(仮)（14.0km）

三陸沿岸道路
延長359km

【H30 開通予定】
歌津本吉道路
歌津IC
～(仮)卯名沢IC（10.0km）

復興道路・復興支援道路
(H30.3月末予定)
総延長 570km
開通済区間 329km
（震災後に開通した区間169km）
事業中区間 241km

■期待される整備効果
・震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして、甚大な被害を受けた各地域間を繋ぎ、連絡することで、復興に力強く貢献します。

○旧北上川における復旧復興事業

～まちづくりとともに事業推進～

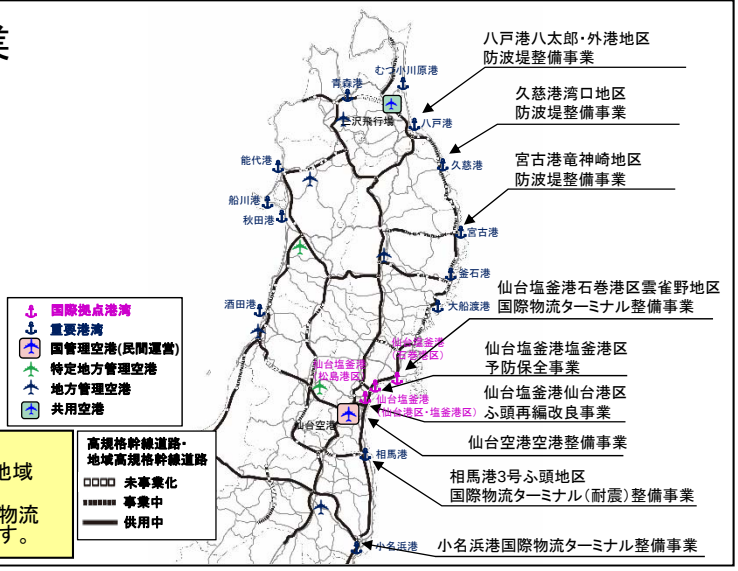
旧北上川では、石巻市の復興まちづくり計画と連携しながら河川堤防等の整備を実施しています。河川堤防の整備にあわせて、市民が憩い、交流できる水辺空間を創出します。

中央地区（まちづくり計画と連携した堤防整備）

■期待される整備効果
河川堤防と他機関による海岸堤防等の整備完了により、高潮や数十年から百数十年に一度の津波が来襲しても石巻市街地の浸水を防ぐほかそれを超える大きな津波が来襲した際にも被害を大幅に軽減できます。

○復興を推進する主な港湾整備事業

～効率的な物流の実現に向けた事業推進～



■期待される整備効果
・経済活動の場である港湾において、効率的な物流環境を構築し、被災地域の復興を強力に後押しします。
・仙台塩釜港では、国際海上コンテナターミナルを拡張再編し、高効率な物流環境の構築により、立地産業の経済活動・国際競争力強化を支援します。

震災伝承のための取り組み　～風化させない・忘れない～

東日本大震災からの復興の象徴となる国営追悼・祈念施設（仮称）を地方公共団体と連携し設置します。また、東日本大震災の教訓と風化防止への取り組みを推進します。

○国営追悼・祈念施設（仮称）の整備

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、岩手県陸前高田市と宮城県石巻市及び福島県双葉町、浪江町に整備される復興祈念公園において、中核的施設となる国営追悼・祈念施設（仮称）の整備を推進します。

宮城県石巻市南浜地区

岩手県陸前高田市高田松原地区

○重点「道の駅」高田松原の再整備

タピック45（旧道の駅）の遺構を活かし、国営追悼・祈念施設(仮称）と一体的に再整備します。「道の駅」の本来機能の他、震災の実情と教訓の伝承を三陸沿岸地域のゲートウェイとして情報発信するため、関係機関と連携し、重点「道の駅」高田松原の再整備を推進します。

被災したタピック45（旧道の駅）

○震災伝承のための取り組み 「風化させない・忘れない」

〔震災を風化させないプロジェクト〕

東日本大震災の教訓等を後世へ伝承するとともに、被災地以外を含めた東北全体の交流促進・拡大を目指して、関係機関と検討を進めています。

その一環として、東北地方整備局、被災3県（岩手県、宮城県、福島県）及び仙台市で構成する「東日本大震災メモリアル施設整備実行委員会」では、インフラに関する東日本大震災の経験・教訓を後世に伝えるための震災伝承看板の整備を進めています。

震災伝承看板（宮城県岩沼市）

伝承看板を見ながら当時を語る市民

激甚化する水害・土砂災害等への備え

激甚化する水害・土砂災害等に備えるため、防災意識社会への転換を図りつつ、ハード・ソフトを総動員した防災・減災対策を推進します。

○治水対策の計画的な推進

浸水被害軽減のため、堤防整備やダム建設等を実施します。

※管内の河川において候補箇所を調査するなど、ダム再生を推進する調査を実施する。

【雄物川】 河川激甚災害対策特別緊急事業・成瀬ダム建設事業

［平成29年7月豪雨による浸水状況（新波地区）］

※H29.7豪雨により、705戸、約2,000haの浸水被害が発生（国管理区間）

■期待される整備効果

・特に浸水被害の大きかった雄物川中流部において、重点的に堤防整備等を実施し、雄物川の氾濫による家屋浸水被害を解消します。

［上流側から望むダムサイト施工状況］

■期待される整備効果

・雄物川の洪水被害の軽減を図るとともに、渇水が発生しても、かんがい用水等を安定的に補給することが可能となります。また、水力発電による電力供給が可能となります。

○緊急点検を踏まえた中小河川緊急治水対策プロジェクト

平成29年7月に発生した九州北部豪雨等の豪雨災害による中小河川の氾濫などを踏まえて実施した「全国の中小河川の緊急点検」の結果に基づく水害・土砂災害対策について、交付金による支援等を概ね3年間（平成32年度目途）で実施します。

【対策内容】

土砂・流木対策
↓
透過型砂防堰堤等の整備

＜対策内容＞

山地部の渓流において、土砂・流木捕捉効果の高い透過構造の砂防施設により、土砂・流木の流出を防止します。また、河川（上流）において、流木捕捉工の新設により河道に流入した流木を捕捉します。

透過型砂防堰堤による流木捕捉事例

再度の氾濫防止対策
↓
河道掘削・堤防整備

＜対策内容＞

河道掘削や堤防整備により流下能力を向上させ、多数の家屋や重要な施設の浸水被害を解消します。

河道掘削の事例

堤防整備の事例

洪水時の水位監視
↓
危機管理型水位計の設置

＜対策内容＞

人家や重要な施設（要配慮者利用施設・市役所・役場等）が浸水するおそれがあり、的確な避難判断が必要な箇所に、洪水時の水位観測に特化した小型で低コストの水位計を設置し、近隣住民の避難を支援します。

洪水に特化した低コストな水位計の設置例

《対策箇所》 ※数値は東北6県の値を集計したもの。

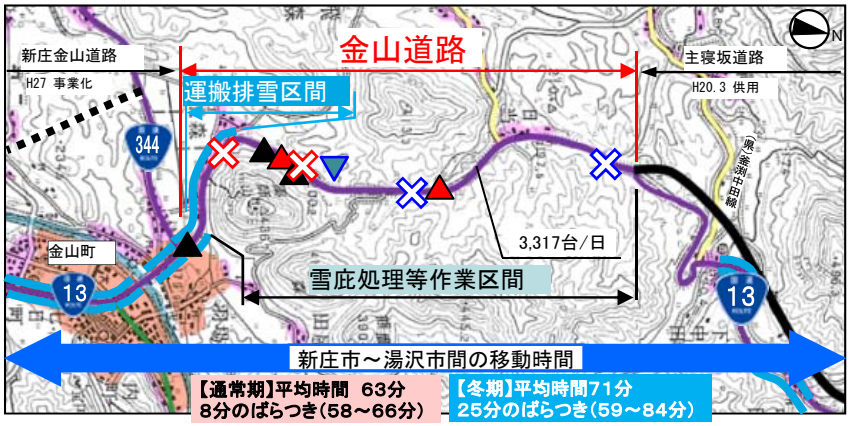
土砂・流木対策		再度の氾濫防止対策		洪水時の水位監視	
対策河川数（県管理）	対策渓流数 ※県管理河川に関連する直轄の渓流を含む	対策河川数（県管理）	対策区間（km）	対策河川数（県管理）	対策箇所数
48	74	31	86.4	790	1,065

安全・安心な通行の確保と急速に進む老朽化の対策等

代替性の確保のための道路ネットワークの整備などを推進します。
また、道路の防災・震災対策や老朽化対策を推進します。

○代替性確保のための道路ネットワークの整備

（例）国道13号
金山道路：H30着手



▽ 急勾配区間（5.3%）
▬ 運搬排雪区間
※ 事故による全面通行止め発生箇所(H19-H28)（冬季: ※）
▲ 事故発生箇所(H19-H28)（冬季: ▲）

国道13号金山地区の冬期道路交通環境
出典：H27一般交通量調査
ETC2.0ﾌﾟﾛｰﾌﾞﾃﾞｰﾀ(全日)

スリップ事故による通行止め

運搬排雪の状況

○防災・震災対策、老朽化対策の推進

・災害発生時における被害を軽減するため、道路の防災対策や震災対策を推進します。
・点検結果に基づく道路橋梁・トンネル等の計画的な修繕を推進します。

【橋梁の耐震補強】

巻き立て補強前　　巻き立て補強後

【橋梁の老朽化対策】

橋梁点検

橋梁（床版）修繕

■期待される整備効果
・自然災害時における被害が軽減されることで、円滑かつ迅速な応急活動を支援します。
・道路施設の長寿命化が図られることで、安全・安心な通行が確保されます。

○通学路等の安全確保

・地域との合同点検結果を踏まえ、通学路の危険な箇所において、歩道等の整備を推進します。

対策前

対策後

国道7号
通学路の歩道整備状況（秋田県にかほ市）

■期待される整備効果
歩行者等の安全性が向上し、安心な歩行空間が確保されます。

生産性向上による成長力の強化

ストック効果を重視した生産性向上に寄与する社会資本整備を推進します。

○日本海・太平洋2面活用の強化

国際交流・連携活動を強化するために必要となるグローバルネットワークの構築に向けて、主要な都市や生産拠点を結ぶ格子状骨格道路ネットワークや港湾等の整備を推進します。

三陸沿岸道路（歌津～本吉）
【H30年度 開通予定】

酒田港コンテナターミナル

H30.3末現在

【凡　例】

高規格幹線道路	供用 / 未供用
地域高規格道路等	供用 / 未供用
H30～H32供用予定	

○ストック効果事例　～相馬港～

防波堤復旧とLNG船受入施設整備により大型投資と雇用創出に寄与

・相馬港では平成30年3月に防波堤(沖)の災害復旧事業が完了し港内静穏度が大きく向上。
・国及び県が民間事業者と一体となって大型LNG船の受入施設を整備したことにより、LNG基地や天然ガス火力発電所の大型投資や新たな雇用創出効果を発現。

＜相馬ＬＮＧ基地＞
（平成29年11月完成）
❑施設概要
・大型LNG貯蔵ﾀﾝｸ1基〔23万kL〕
・ﾄﾞﾙﾌｨﾝ2ﾊﾞｰｽ〔-14m・-7.5m〕
・ﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝ　他
❑建設投資：約600億円
❑新規雇用：約100人
❑操業開始：平成30年3月

＜福島天然ガス発電所＞
❑施設概要
・天然ガス火力発電（118万kW）
❑建設投資：約1,200億円
❑新規雇用：約100～200人
❑操業開始：平成32年予定

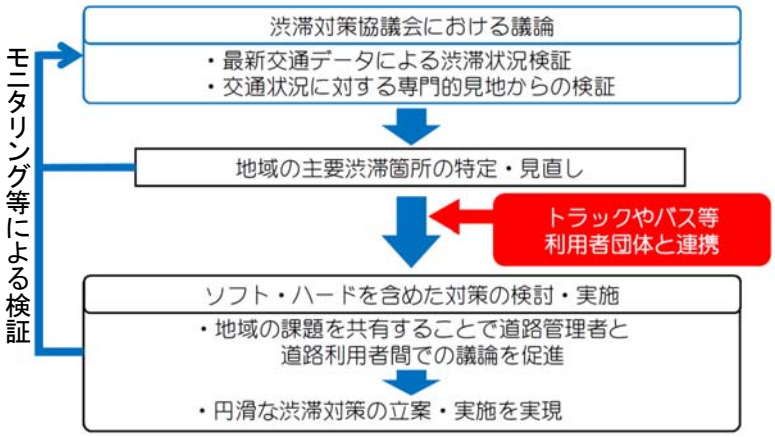
トラック・バス渋滞ポイントにおける対策

1. 概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。

渋滞対策の流れ



2. 主な事業箇所・事業内容

国道7号津賀野（つかの）交差点
（青森県 弘前市）

<<右折レーンの延伸を予定 >>

国道46号西（にし）バイパス北口（きたぐち）交差点
（岩手県 盛岡市）

<<右折レーンの延伸を予定 >>

国道4号泉ヶ丘（いずみがおか）交差点
（宮城県 仙台市）

<<右折レーンの延伸を予定 >>

国道13号御所野団地入口（ごしょのだんちいりぐち）交差点
（秋田県 秋田市）

<<右折レーンの延伸を予定 >>

国道112号旅篭町（はたごまち）交差点
（山形県 山形市）

<<右折レーンの新設を予定 >>

国道4号荒池下（あらいけした）交差点
（福島県 郡山市）

<<右折レーンの延伸を予定 >>

「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」の推進

ICT活用などによる建設現場の生産性向上や業務の効率化など働き方改革を通じ、建設業の担い手確保に向けた「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」を推進します。

○東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト

- **東北地方は少子化に伴う人口減や高齢化が進行しており、建設業の担い手不足が深刻化**
- **平成28年、生産性向上や業務改善、担い手の確保など「東北復興働き方改革プロジェクト」開始**
- **東北地方における担い手不足は、引き続き深刻な状況**
- **取り組みを広げるためにも自治体や中小企業対策を含めた、新たな取り組みが必要**

東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト

① ICT、IoT活用で、生産性向上！

- ICT活用工事の更なる普及推進(見える化プロジェクト)
  - 土工・舗装・浚渫分野への積極展開
  - 自治体へのICT活用工事の拡大支援
  - 中小企業への普及拡大支援
- CIMの導入により、高い精度での設計・施工
  - 設計・施工・維持管理分野へのCIM導入

②業務改善により、より効率的な働き方を!

- 施工現場でのコミュニケーションツールの活用拡大
  - ウェアラブルカメラ等による現場管理の効率化
- 施工時期の平準化の更なる推進
- 提出書類等の更なる簡素化・簡略化
  - 手続きを簡略化した入札手続きの導入
    簡易確認方式の導入拡大(段階的選抜方式) 他
  - 工事書類の更なる簡素化

③ 働く人々をサポート！(人づくり支援)

- 講習会、研修などでサポート！
  - 自治体職員を含む人材育成協議会の活動推進
  - 自治体職員の防災対応力向上支援(学び塾)
- 復興促進アドバイザーによる自治体復興支援強化
- 女性技術者・若手技術者配置工事の拡大実施

④ワーク・ライフ・バランス改善をサポート！

- 女性技術者、若手技術者をサポート！
  - ワーク・ライフ・バランスを推進する企業を支援
  - 自治体への普及促進
- メリハリのある働き方をサポート！
  - ウィークリースタンス等の推進

〔ICT活用工事の推進・普及〕

・ICT活用工事(土工、舗装、浚渫)を推進し、更なる生産性向上に努めます。
・自治体や中小企業でも取り組めるよう、発注予定や課題、効果、現場の『見える化』を進めます。
・東北復興i-Construction連絡調整会議の活動強化、講習、研修等の充実も図ります。

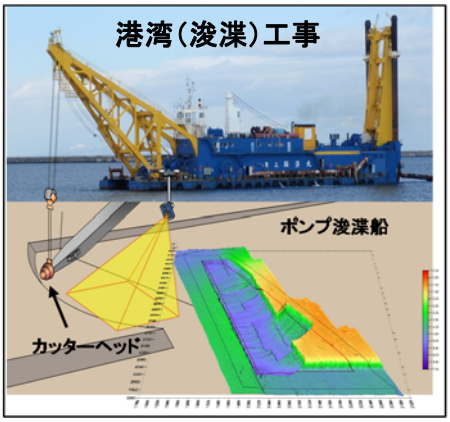
土工工事

運転席のモニター画面で仕上がり状況確認　ICTバックホウによる法面整形

舗装工事

MCモーターグレーダによる敷均し
※MC：マシーンコントロール(建設機械の自動制御技術)

港湾(浚渫)工事



NMB測量による仕上がり状況確認
※NMB測量：複数の音波ビームによる水底深浅測量

〔 参 考 〕

平成30年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）

岩手県　国道4号	盛岡南道路
宮城県　国道108号	石巻河南道路
宮城県	仙台東道路
山形県・新潟県	新潟山形南部連絡道路　小国道路
山形県　国道112号	山形中山道路
福島県　国道4号	矢吹鏡石道路

青森・南部地域については、青森県と連携し、みちのく有料道路の活用も含めた幹線道路ネットワークの機能強化を検討します。

国道106号岩手県宮古地区並びに国道349号丸森町地区を対象に、県や有識者からなる協議会に国も参加し、防災・安全に関する検討に対して助言する取組を実施します。

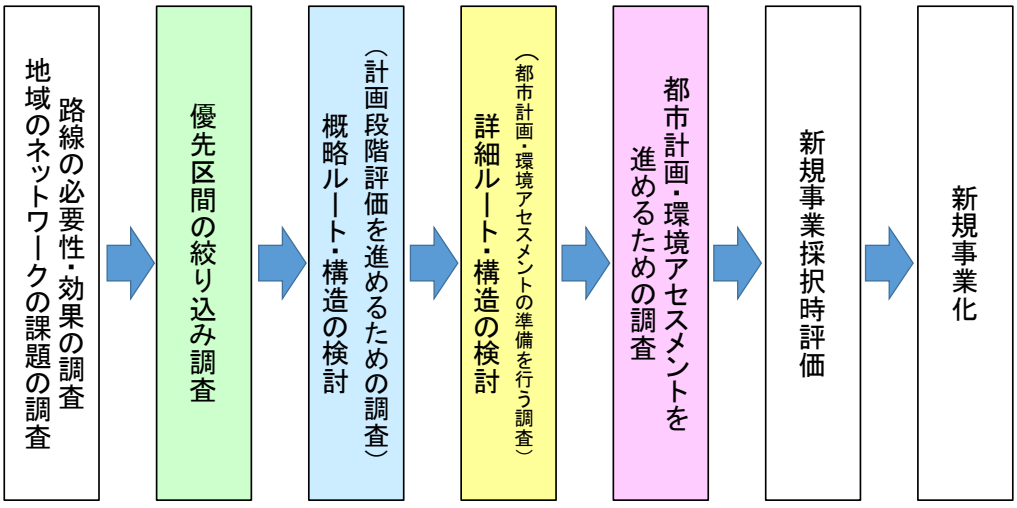
宮城県内において、国道48号上愛子地区を対象に、観光期における渋滞対策の結果を踏まえた検討を実施します。

国道4号仙台拡幅については、整備方針等の検討を実施します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

＜道路調査の流れ＞



【平成30年度　新規事業化箇所一覧】

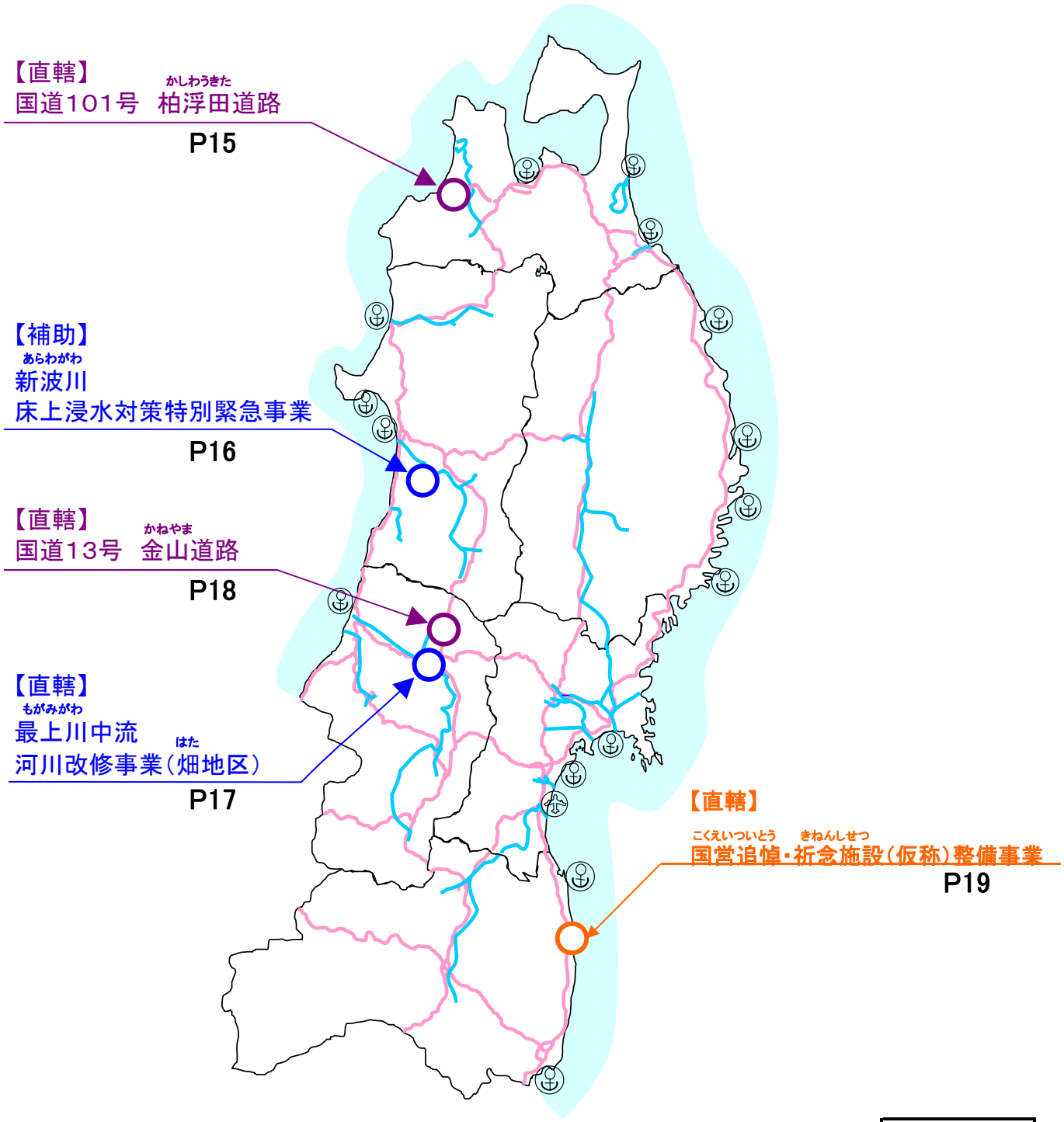
事業区分		事業名	県名	市町村名	完成予定・開通目標年度	H30事業費（百万円）	H30事業内容	頁
道路	直轄	国道101号　柏浮田道路	青森県	つがる市	－	180	調査設計	P15
道路	直轄	国道7号　青森7号交通安全対策（鶴ヶ坂地区事故対策）	青森県	青森市	－	15	調査設計	
道路	直轄	国道104号　青森104号電線共同溝（売市地区）	青森県	八戸市	－	104	調査設計、支障物移設	
営繕	直轄	青森地方気象台改修事業	青森県	青森市	H30	31	外壁改修	
道路	直轄	国道48号　郷六橋架替	宮城県	仙台市	－	540	改良工事	
道路	直轄	国道108号　宮城108号電線共同溝（前田町地区）	宮城県	大崎市	－	240	調査設計、支障物移設、連系設備工事	
道路	補助	主要地方道　仙台村田線　（仮称）菅生SIC	宮城県	柴田郡村田町	－	100	調査設計、用地補償	
営繕	直轄	宮城県警察学校改修事業	宮城県	名取市	H30	20	天井耐震対策	
河川	補助	新波川　床上浸水対策特別緊急事業	秋田県	秋田市	H34	300	河道掘削、築堤用地取得 等	P16
道路	直轄	国道13号　秋田13号交通安全対策（十文字歩道整備）	秋田県	横手市	－	360	調査設計、用地補償、改良工事	
河川	直轄	最上川中流　河川改修事業　（畑地区）	山形県	新庄市	－	（414）	用地取得	P17
道路	直轄	国道13号　金山道路	山形県	最上郡金山町	－	100	調査設計	P18
道路	直轄	国道13号　山形13号交通安全対策（南陽登坂車線整備）	山形県	南陽市	－	24	調査設計	
営繕	直轄	山形地方合同庁舎改修事業	山形県	山形市	H30	31	屋根防水改修	
道路	直轄	国道6号　福島6号交通安全対策（小浜交差点改良）	福島県	いわき市	－	6	調査設計	
道路	直轄	国道4号　福島4号電線共同溝（松山町地区）	福島県	福島市	－	15	調査設計	
公園	直轄	国営追悼・祈念施設(仮称)整備事業（福島県双葉郡浪江町両竹地区）	福島県	浪江町	－	100	基本設計、測量等	P19
営繕	直轄	福島第2地方合同庁舎整備事業	福島県	福島市	H30	4	敷地調査	

※★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※事業費の（　）の金額は、「最上川中流」の全体額

※道路事業のうち交通安全事業については、主な新規事業化箇所を掲載

【平成30年度　主な新規事業化箇所位置図】



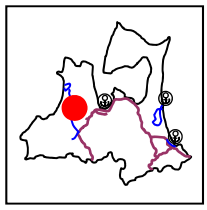
凡　例
河　川　事　業
道　路　事　業
港湾・空港事業
都市・住宅事業
営　繕　事　業

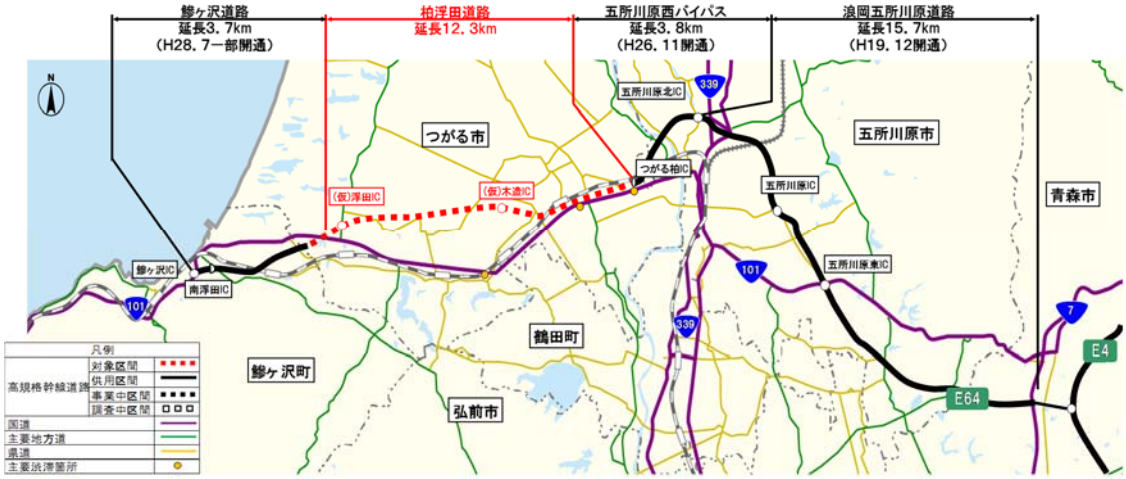
国道101号　柏浮田（かしわうきた）道路

H30：180百万円	
開通予定 ： ー	

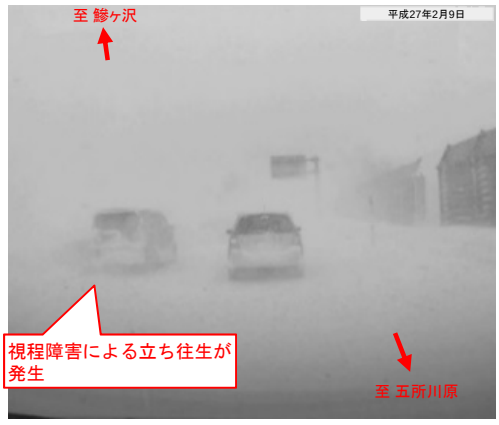
新規	青森県つがる市	道路	直轄

【事業の概要】
柏浮田（かしわうきた）道路は、津軽自動車道の一部を構成し、冬期交通機能を確保するとともに、高速道路ネットワークが形成されることで、地域連携強化による周遊観光・地域産業の活性化、高次救急医療の支援などを目的とする自動車専用道路です。





【整備効果】
○発生頻度の高い地吹雪や積雪による交通機能低下などの課題が多い当地域において、信頼性の高いネットワークを構築します。
○西津軽地域と主要な交通拠点を結ぶ高速道路網を確保し、観光振興・地域産業の活性化を支援します。
○高次救急医療施設への搬送時間の短縮・より安定した搬送の実現により、救急医療活動を支援します。



▲冬期の交通状況（地吹雪）

▲津軽半島周遊道路ネットワーク

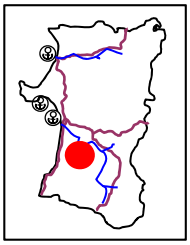
【平成30年度の事業内容】 調査設計等を実施します。

新波川（あらわがわ）　床上浸水対策特別緊急事業

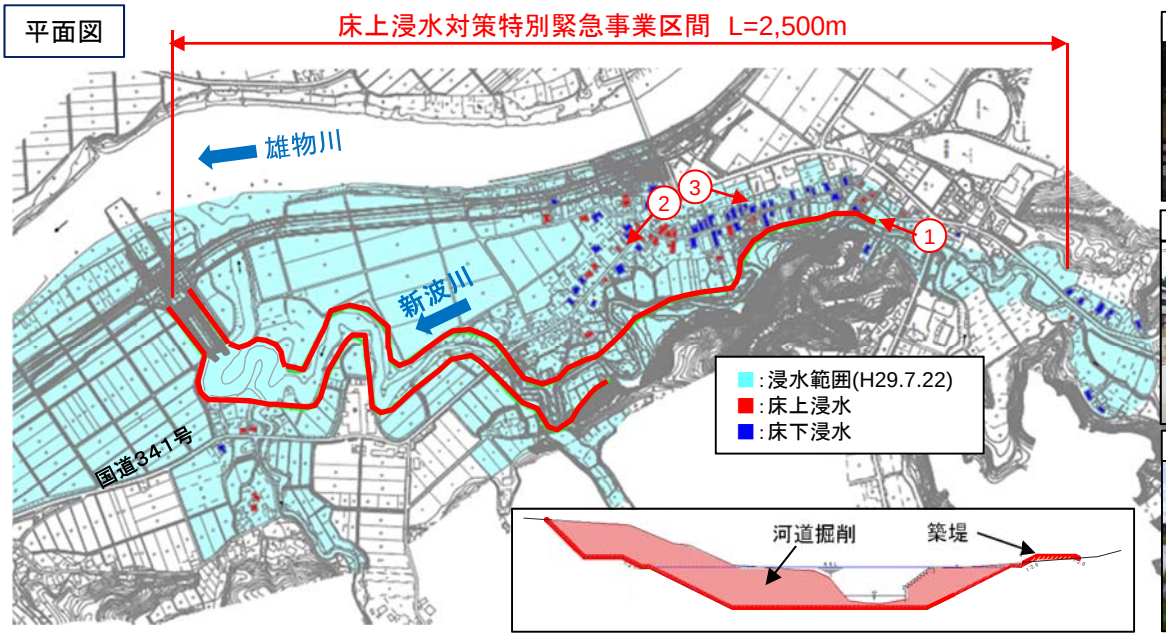
H30：300百万円	
完成予定：H34	

新規	秋田県秋田（あきた）市	河川	補助

【事業の概要】
　平成29年7月の豪雨により、甚大な浸水被害が発生したことを受け、床上浸水対策特別緊急事業に着手し、家屋浸水被害の解消を目的に集中的な河川改修を実施します。



平面図

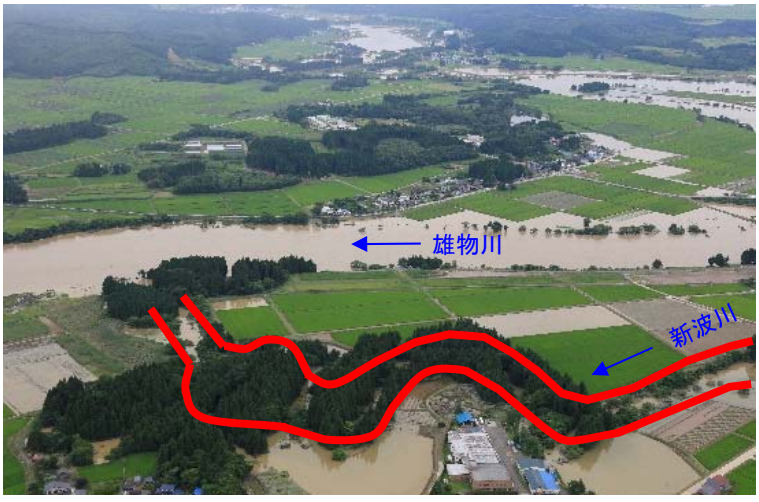


①新波川溢水状況

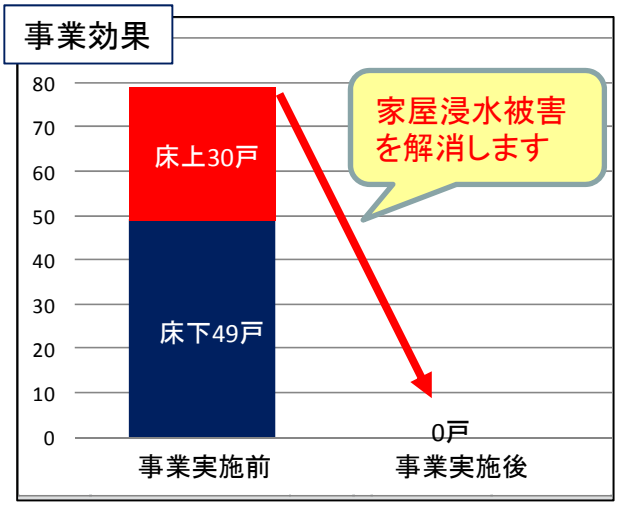
②新町地区浸水状況

③本屋敷地区浸水状況

【整備効果】
　河道掘削、築堤等の河川改修事業によって、事業完了時に平成29年7月豪雨と同等規模の洪水に対して、家屋浸水被害を解消します。



事業効果



【平成30年度の事業内容】
　用地取得、河道掘削、築堤を実施します。

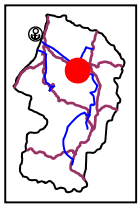
最上川中流　河川改修事業（畑地区）

H30：414百万円※

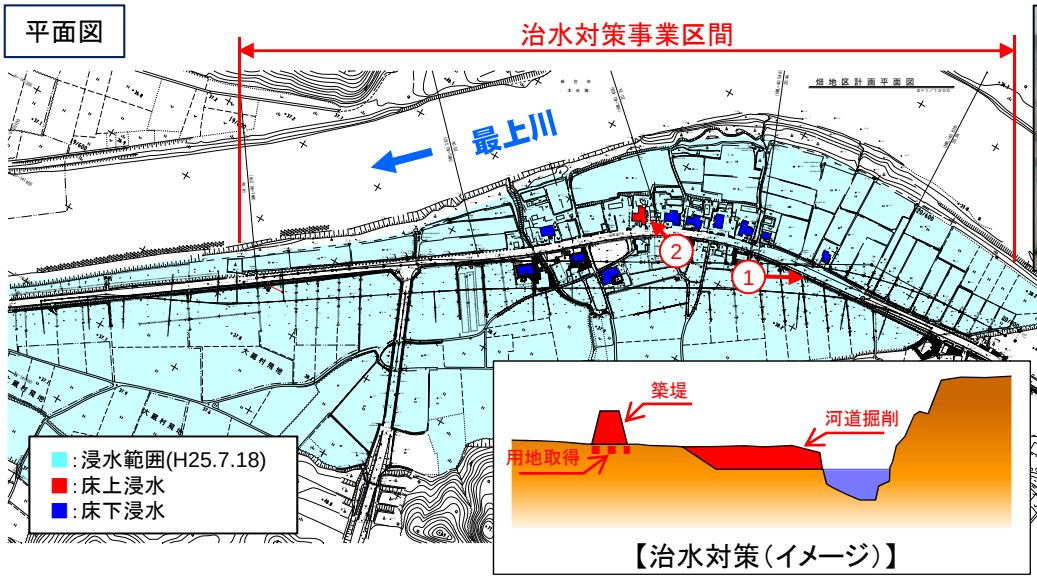
完成予定：　－

新規	山形県新庄市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載



【事業の概要】
平成25年7月の洪水により、家屋の浸水被害が発生した畑地区において、新庄市が進める事業と調整を図りながら、治水対策を実施します。



【治水対策（イメージ）】

【整備効果】
治水対策を実施することにより、当該地区の浸水被害を解消します。

【平成30年度の事業内容】
事業用地の取得を行います。

国道13号　金山道路

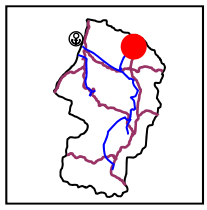
H30：100百万円

開通予定 ： ー

新規	山形県最上郡金山町	道路	直轄

【事業の概要】

金山道路は、東北中央自動車道の一部を構成し、冬期交通機能を確保するとともに、高速道路ネットワークが形成されることで、地域連携強化による冬期周遊観光の支援などを目的とする自動車専用道路です。



【整備効果】

○冬期の交通規制や路面凍結による交通事故、信頼性低下等の課題を抱える豪雪地域において、雪に強いネットワークを確保します。

○東北中央自動車道の最後の区間である当該区間の整備により、周遊観光を支援する高速道路ネットワークが形成されます。

▲交通規制を伴う運搬排雪作業の状況（国道13号）

▲県境を跨ぐインバウンド観光

【平成30年度の事業内容】 調査設計等を実施します。

国営追悼・祈念施設（仮称）整備事業

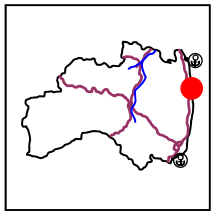
H30：100百万円

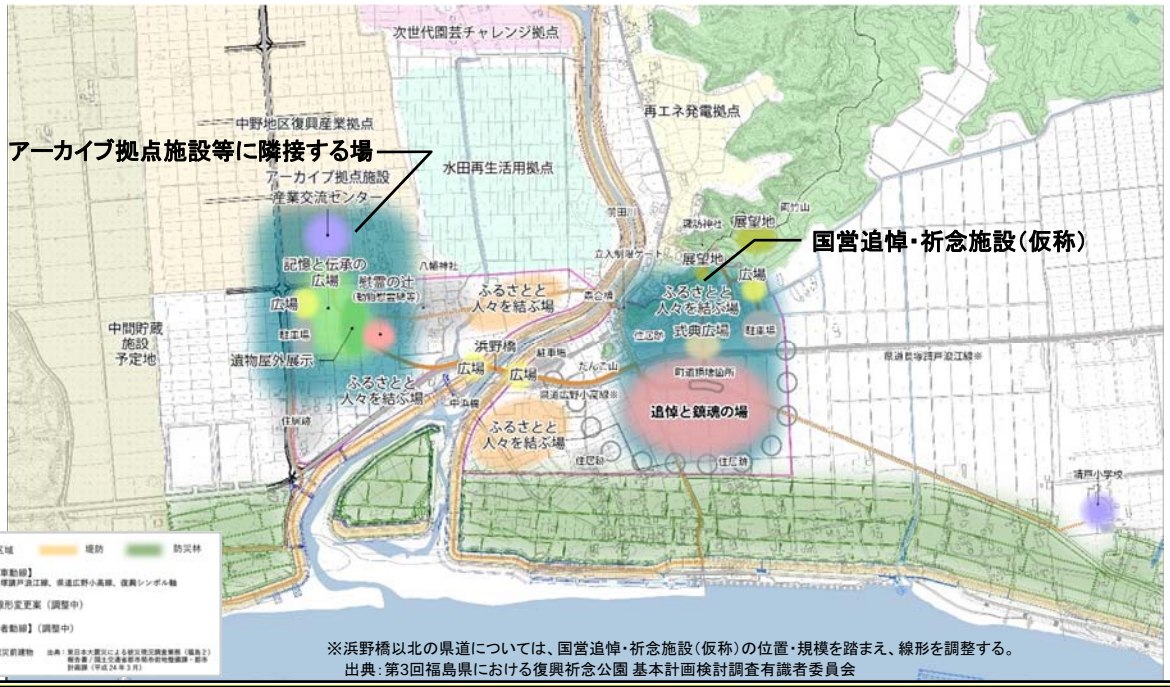
完成予定：ー

新規	福島県双葉郡浪江町両竹地区	公園	直轄

【事業の概要】

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、福島県と双葉町及び浪江町の連携の下、県が福島県双葉郡双葉町中野地区、両竹地区、浪江町両竹地区、中浜地区に整備する「福島県復興祈念公園」の中に、中核となる丘や広場等の施設を整備します。





【整備効果】

本施設の整備により、東日本大震災の犠牲者への追悼・鎮魂、教訓の伝承、復興の象徴の場が形成されるとともに、多様な主体が参画できる場が形成される等の効果が見込まれます。

【平成30年度の事業内容】

平成30年度は基本設計、測量等を実施します。

【平成30年度　完成・開通予定事業一覧】

事業区分		事業名	県名	市町村名	H30事業費（百万円）	H30事業内容	頁
道路	直轄	国道４５号　上北天間林道路	青森県	上北郡東北町～七戸町	518	全線２車線開通 調査設計、支障物移転、舗装工事	P23
河川（砂防）	直轄	八幡平山系直轄砂防事業（澄川砂防堰堤）	岩手県	八幡平市	(691)	砂防堰堤工	
河川（砂防）	直轄	八幡平山系直轄砂防事業（荒沢砂防堰堤）	岩手県	岩手郡雫石町		砂防堰堤工	P24
河川（砂防）	直轄	八幡平山系直轄砂防事業（国見温泉砂防堰堤）	岩手県	岩手郡雫石町		砂防堰堤工	
道路	直轄　★	国道４５号　三陸沿岸道路（唐桑北～陸前高田）	宮城県 岩手県	宮城県気仙沼市～岩手県陸前高田	9,137	全線2車線開通 調査設計、支障物移転、改良・橋梁・舗装工事	P25
道路	直轄　★	国道４５号　三陸沿岸道路（吉浜～釜石）	岩手県	大船渡市～釜石市	10,273	全線２車線開通 調査設計、支障物移転、改良・舗装工事	P26
道路	直轄　★	国道４５号　三陸沿岸道路（釜石山田道路）	岩手県	釜石市～下閉伊郡山田町	11,115	部分２車線開通((仮称)釜石JCT～釜石両石IC)、((仮称)大槌IC～山田南IC) 調査設計、支障物移転、改良・橋梁・舗装工事	P26
道路	直轄　★	国道２８３号　釜石花巻道路（釜石～釜石西）	岩手県	釜石市	2,449	全線２車線開通 調査設計、支障物移転、改良・舗装工事	P27
道路	直轄　★	国道２８３号　釜石花巻道路（遠野住田～遠野）	岩手県	遠野市	6,100	全線２車線開通 調査設計、支障物移転、橋梁・舗装工事	P27
道路	直轄	国道４５号　岩手４５号電線共同溝（田老地区）	岩手県	宮古市	10	引込連系管路工事、連系設備工事、路面復旧	P28
道路	補助　★	国道１０６号　宮古西道路	岩手県	宮古市	7,200	全線２車線開通 改良・橋梁・トンネル・舗装工事	
道路	補助	市道　スマートインター1号線　滝沢中央SIC	岩手県	滝沢市	700	SICアクセス道路開通 改良・橋梁・舗装工事	
河川	直轄	鳴瀬川　河川改修事業（多田川地区）	宮城県	大崎市	(574)	築堤	P29
道路	直轄	国道４号　金ヶ瀬拡幅	宮城県	刈田郡蔵王町～柴田郡大河原町	880	全線４車線開通 調査設計、支障物移転、改良・舗装工事	P30
道路	直轄　★	国道４５号　三陸沿岸道路（歌津～本吉）	宮城県	本吉郡南三陸町～気仙沼市	9,358	部分２車線開通（歌津IC～（仮称）卯名沢IC） 調査設計、支障物移転、改良・橋梁・舗装工事	P31
道路	直轄　★	国道４５号　三陸沿岸道路（本吉気仙沼道路（Ⅱ期））	宮城県	気仙沼市	3,788	全線２車線開通 調査設計、支障物移転、改良・舗装工事	
道路	直轄	国道４５号　宮城４５号電線共同溝（尾島地区）	宮城県	塩竈市	49	路面復旧	P32
道路	補助　★	主要地方道　築館登米線　（Ⅳ期築館工区）	宮城県	栗原市	1,780	全線２車線開通（栗原市志波姫～同市築館） 改良・舗装工事	
河川	直轄	米代川　河川改修事業（二ツ井地区）	秋田県	能代市	(732)	河川防災ステーション整備	P33
河川（砂防）	直轄	八幡平山系直轄砂防事業（大和田沢砂防堰堤）	秋田県	仙北市	(626)	砂防堰堤工	
道路	補助	市道　横手北スマートインター線	秋田県	横手市	192	SICアクセス道路開通 改良・舗装工事	
港湾	直轄	能代港　外港地区　防波堤整備事業	秋田県	能代市	232	防波堤上部工	P34
河川	直轄	最上川上流　河川改修事業（鮎貝地区）	山形県	西置賜郡白鷹町	(1,263)	浸透対策	P35

※★の事業は、復興庁からの配分事業である。

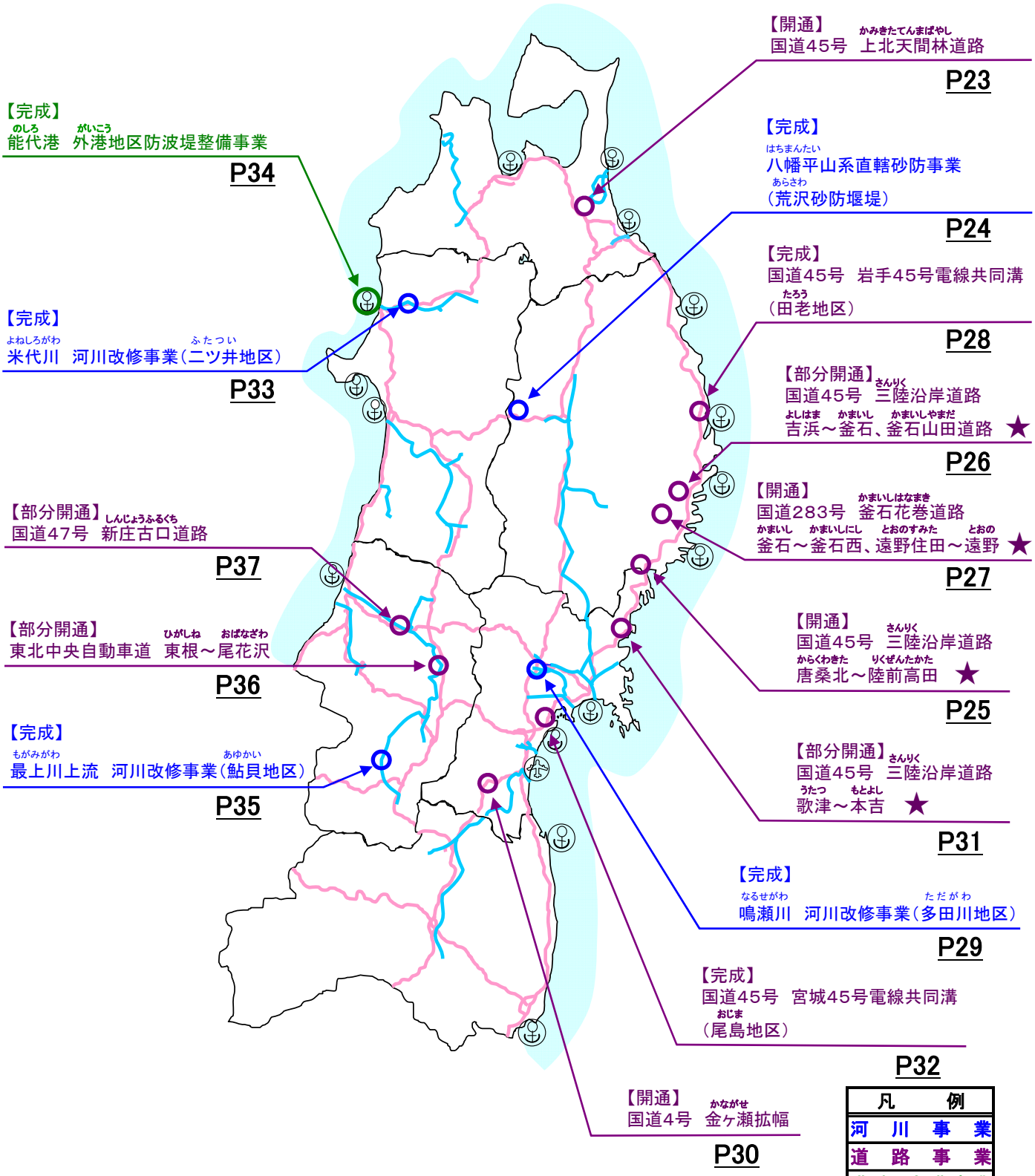
※事業費の（ ）の金額は、以下河川・山系・水系単位の全体額
　鳴瀬川、米代川、最上川上流、八幡平山系（岩手県）、八幡平山系（秋田県）、最上川水系、赤川水系

事業区分		事業名	県名	市町村名	H30事業費（百万円）	H30事業内容	頁
河川（砂防）	直轄	最上川水系直轄砂防事業（玉川第４砂防堰堤）	山形県	東田川郡 庄内町	(2,132)	砂防堰堤工	
河川（砂防）	直轄	最上川水系直轄砂防事業（熊高沢砂防堰堤改築）	山形県	最上郡 大蔵村		砂防堰堤工	
河川（砂防）	直轄	最上川水系直轄砂防事業（後沢砂防堰堤改築）	山形県	西村山郡 西川町		砂防堰堤工	
河川（砂防）	直轄	赤川水系直轄砂防事業（東大鳥川砂防堰堤）	山形県	鶴岡市	(791)	砂防堰堤工	
河川（砂防）	直轄	赤川水系直轄砂防事業（小松沢砂防堰堤改築）	山形県	鶴岡市		砂防堰堤工	
道路	直轄	東北中央自動車道　東根～尾花沢	山形県	東根市～尾花沢市	9,385	部分２車線開通（東根IC～東根北IC） 調査設計、支障物移転、改良・橋梁・舗装工事	P36
道路	直轄	国道４７号　新庄古口道路	山形県	新庄市～最上郡戸沢村	3,238	部分２車線開通（最上郡戸沢村津谷～同村古口） 調査設計、支障物移転、改良・橋梁・舗装工事、トンネル着手	P37
営繕	直轄	福島地方合同庁舎改修事業	福島県	福島市	57	外壁改修、給排水設備改修	

※★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※事業費の（ ）の金額は、以下河川・山系・水系単位の全体額
鳴瀬川、米代川、最上川上流、八幡平山系（岩手県）、八幡平山系（秋田県）、最上川水系、赤川水系

【平成30年度　主な完成・開通予定事業位置図】



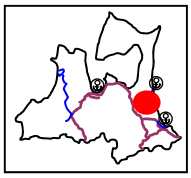
★は復興庁からの配分事業である。

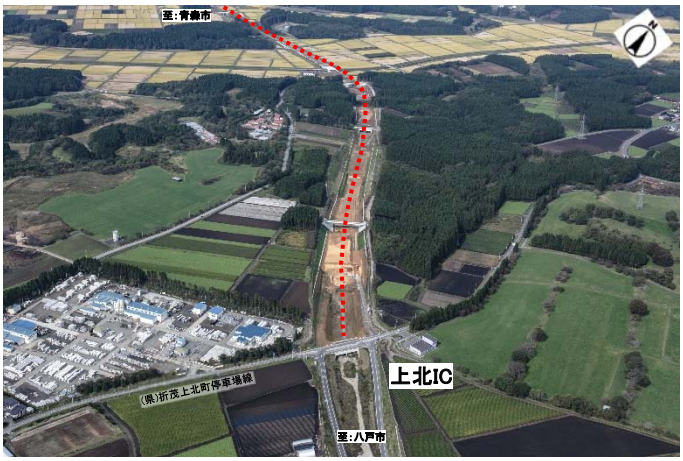
国道45号　上北天間林道路

H30：518百万円

開通	青森県上北郡東北町～七戸町	道路	直轄

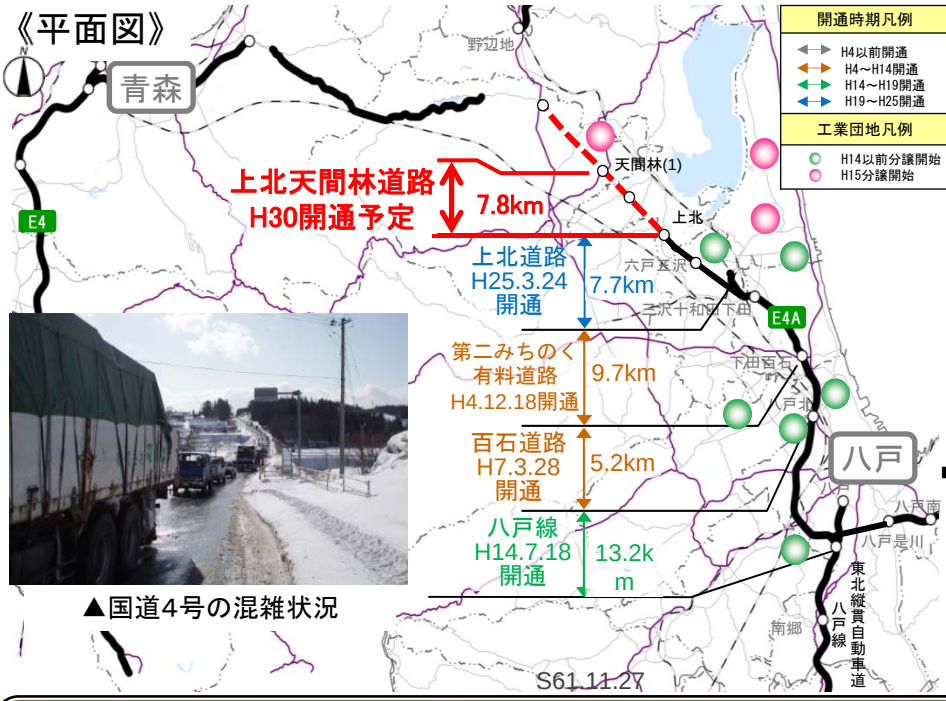
【事業の概要】
上北天間林道路は、東北縦貫自動車道八戸線の一部を構成し、4号及び45号の交通混雑緩和、物流の速達性向上等を目的とした高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。





【整備効果】
〇並行する4号及び45号の交通混雑の緩和が期待されます。
〇物流等の輸送効率化が図られ、更なる企業立地促進や雇用創出を支援します。

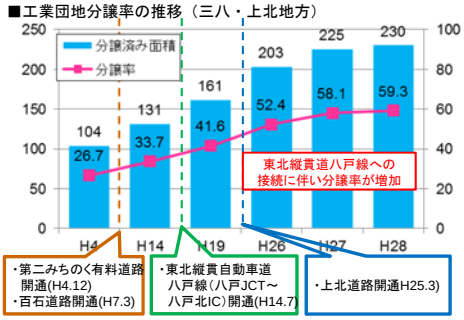
《平面図》



▲国道4号の混雑状況

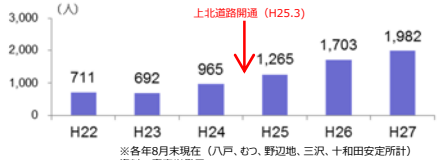
《効果》

■工業団地分譲率の推移（三八・上北地方）



※各年4月1日現在　資料：青森県商工労働部

■高卒求人数の推移（三八・上北地方、下北地方）



※各年8月末現在（八戸、むつ、野辺地、三沢、十和田安定所計）
資料：青森労働局

【平成30年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、舗装工事等を実施します。

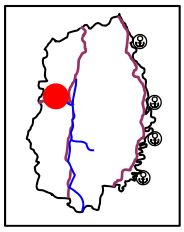
八幡平山系直轄砂防事業（荒沢砂防堰堤）

H30：691百万円※

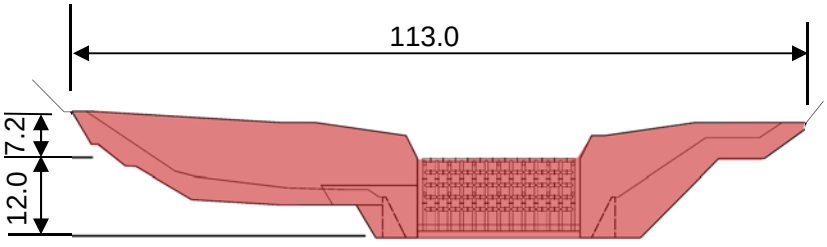
完成	岩手県岩手郡雫石町	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該山系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
　秋田駒ヶ岳における、大量の不安定土砂の流出による災害防止及び火山噴火による降灰後の降雨に起因する土石流に対し、大規模な土砂災害を軽減するため、砂防堰堤を整備します。



【整備効果】
　荒沢砂防堰堤の整備により、秋田駒ヶ岳噴火後に発生する土砂の流出を防止・抑制し、下流域にある人家・事業所等を保全します。



単位:m

砂防堰堤正面図

施工状況

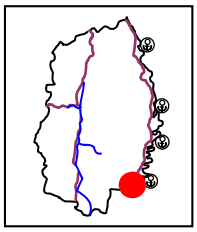
【平成30年度の事業内容】
　砂防堰堤の整備を実施し、当該箇所の事業を完成させます。

国道45号　三陸沿岸道路（唐桑北～陸前高田）

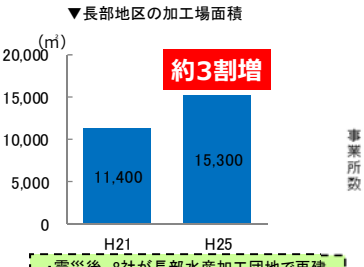
H30：9,137百万円
（岩手県5,849百万円、
宮城県3,288百万円）

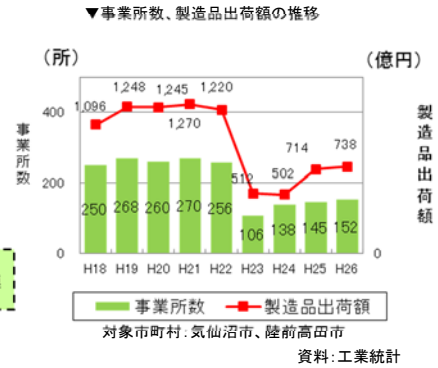
開通	宮城県気仙沼市～岩手県陸前高田市	道路	直轄

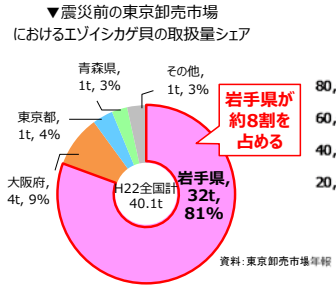
【事業の概要】
三陸沿岸道路（唐桑北～陸前高田）は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。

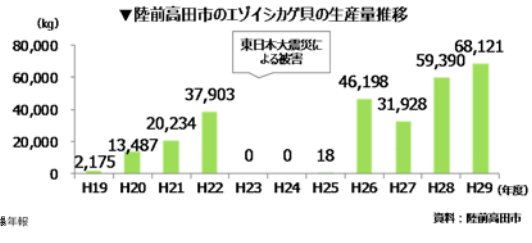


【整備効果】
○岩手・宮城県境の地域間連携の強化が図られ、産業・経済の活性化を支援します。
○陸前高田市の主要産業である水産業・水産加工業の販路拡大が期待されます。









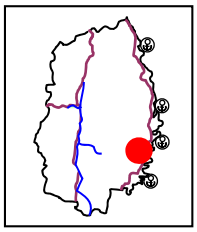
【平成30年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を実施します。

国道45号　三陸沿岸道路（吉浜～釜石、釜石山田道路）

吉浜～釜石　H30：10,273百万円
釜石山田道路　H30：11,115百万円

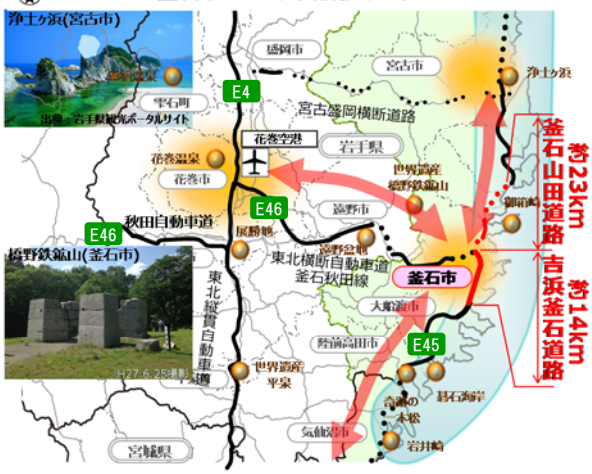
部分開通	岩手県大船渡市～下閉伊郡山田町	道路	直轄

【事業の概要】
三陸沿岸道路（吉浜～釜石、釜石山田道路）は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。

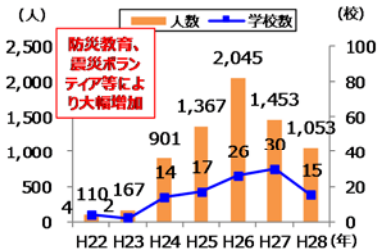


【整備効果】
〇定時性が確保されることにより、所要時間が短縮され、世界遺産「橋野鉄鉱山」など三陸沿岸の観光地を結ぶ観光エリアの拡大を支援します。

▼釜石市周辺の広域観光ルート

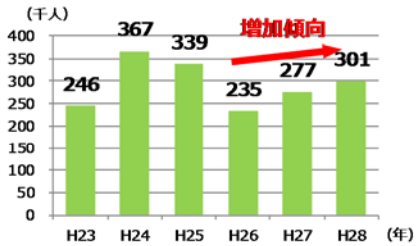


▼教育旅行の受入数（釜石市）



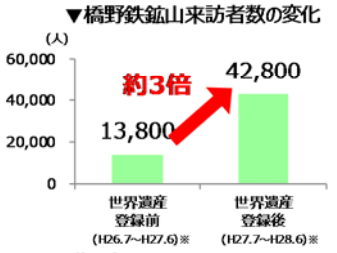
資料：岩手県観光統計

▼釜石市の観光入込客数の推移



資料：岩手県観光統計概要

▼橋野鉄鉱山来訪者数の変化



※但し、施設が休館となる冬季（12/9～3/31）を除く

利用者、観光事業者の声

《観光客の声》
- ◆観光で三陸へ向かうことが多くなると思う。観光地をアピールしてほしい。
- ◆仙台から全て高速で来れるようになったら便利。

（H27.8 橋野高炉跡アンケート調査結果）

《旅行事業者の声》
- ◆所要時間の大幅減により、釜石・宮古等をめぐるツアーは組みやすくなると思う。

（H27.8 旅行事業者ヒアリング結果）

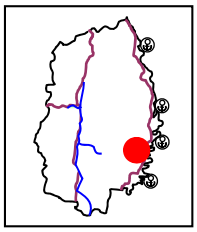
【平成30年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を実施します。

国道283号 釜石花巻道路（釜石～釜石西、遠野住田～遠野）

釜石～釜石西	H30：2,449百万円
遠野住田～遠野	H30：6,100百万円

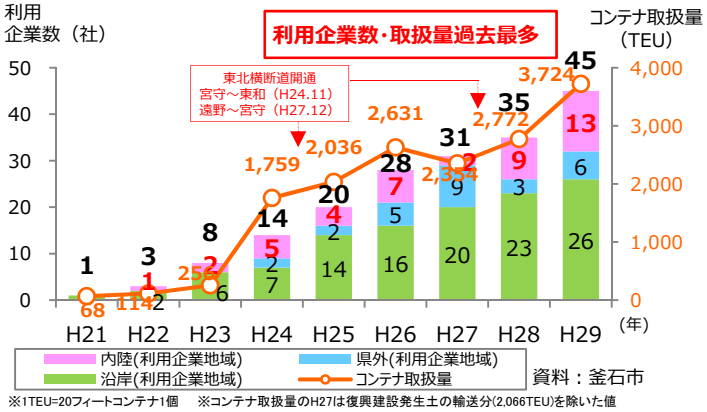
開通	岩手県釜石市～遠野市	道路	直轄

【事業の概要】
釜石花巻道路（釜石～釜石西、遠野住田～遠野）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。



【整備効果】
〇内陸部と釜石港とのアクセス性向上により、産業・経済の活性化を支援します。
〇内陸部の主要宿泊地と釜石市を結ぶ安定した移動経路の確保により、「ラグビーワールドカップ2019™」釜石開催の円滑な大会運営を支援します。

▼釜石港利用企業数・一般貨物コンテナ取扱量の推移



※1TEU=20フィートコンテナ1個　※コンテナ取扱量のH27は復興建設発生土の輸送分(2,066TEU)を除いた値

コンテナ船・ガントリークレーン

<釜石港>
・ガントリークレーン１基増設（H29.9.23稼働）
※荷役能力は従来の３倍。岩手県導入初
・外貿コンテナ定期航路開設(H29.11.17航行)
※釜石港と中国・韓国を週１便で運行する直接航路

▼「ラグビーワールドカップ2019™」釜石開催の概要

資料：釜石市ヒアリング結果より作成

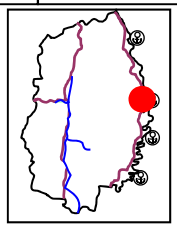
【平成30年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を実施します。

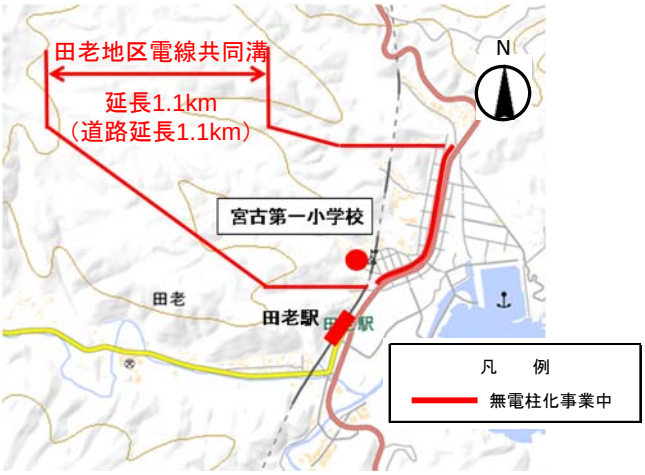
国道45号　岩手45号電線共同溝（田老地区）

H30：10百万円

完成	岩手県宮古市	道路	直轄

【事業の概要】
田老地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、復興まちづくりの中心部の良好な景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。

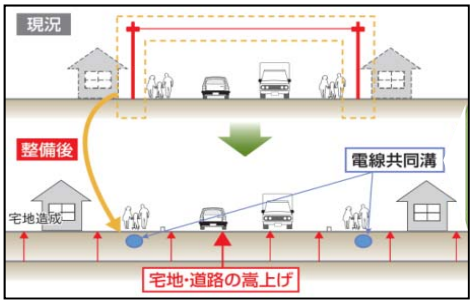




宮古市における被災市街地復興土地区画整理事業及び国道45号復興と一体的に電線共同溝整備を進めます。

【整備効果】
○ 道路の防災性能の向上　➡ 緊急車両の迅速な走行及び災害時の円滑な避難
○ 歩行者空間の快適性の確保 ➡ 快適・安全で歩きやすい歩行空間
○ 良好な景観形成、観光振興 ➡ 歩きたくなる道・周辺地区の回遊

▼道路の防災性能の向上（岩手沿岸地域の場合）



▼現況写真および整備後イメージ

電柱が立ち並んでいる国道　　完成後イメージ

▼復興拠点となる新たな「道の駅」と一体的な整備

宮古市田老地区の復興まちづくりの中心部で無電柱化

【平成30年度の事業内容】 引込連系管路工事、連系設備工事、路面復旧

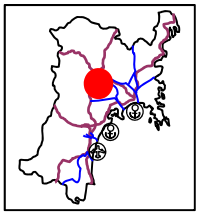
鳴瀬川（なるせがわ）　河川改修事業（多田川（ただがわ）地区）

H30：574百万円※

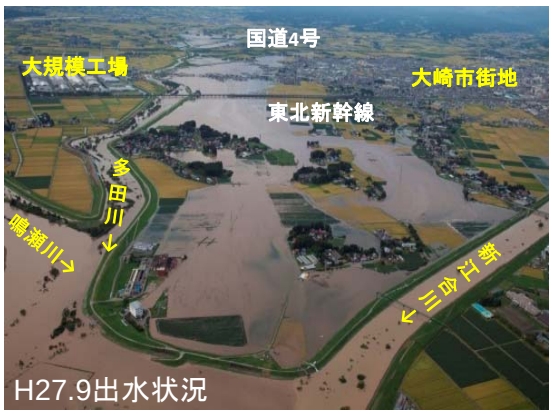
完成	宮城県大崎（おおさき）市	河川	直轄

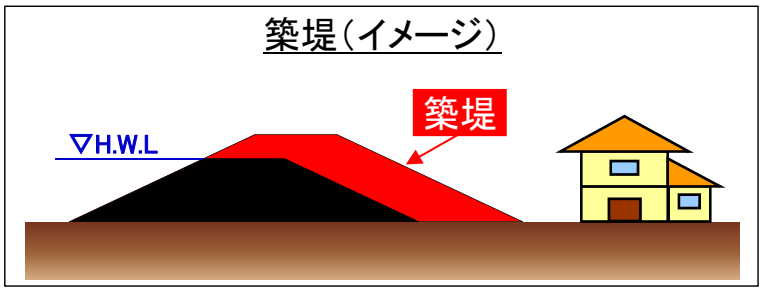
※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
　背後に国道や大規模工場が集積する宮城県北部の重要な産業地帯である多田川地区において、築堤を実施します。



【整備効果】
　堤防の拡築により、堤防決壊時に想定される約18，200戸の家屋浸水被害を防止します。





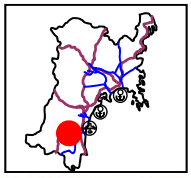
【平成30年度の事業内容】
　築堤を実施し、当該地区の事業を完成させます。

国道4号　金ヶ瀬（かながせ）拡幅

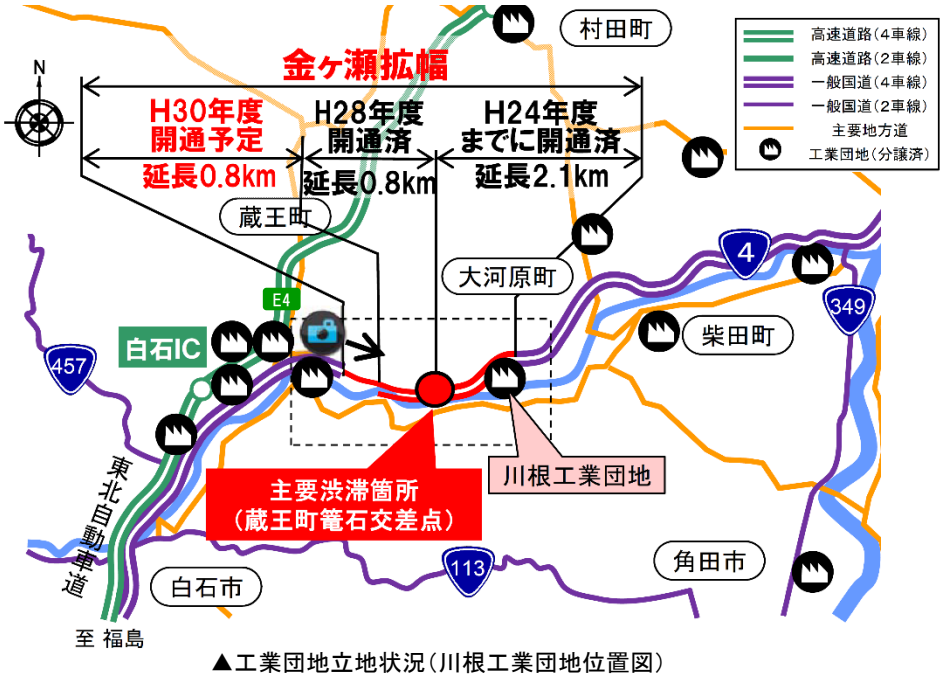
H30：880百万円

開通	宮城県刈田郡蔵王町（かったざおうまち）～柴田郡大河原町（しばたおおがわらまち）	道路	直轄

【事業の概要】
国道4号　金ヶ瀬（かながせ）拡幅は蔵王町（ざおうまち）～大河原町（おおがわらまち）内の交通混雑の緩和及び沿道環境の改善等を目的とした4車線拡幅事業です。

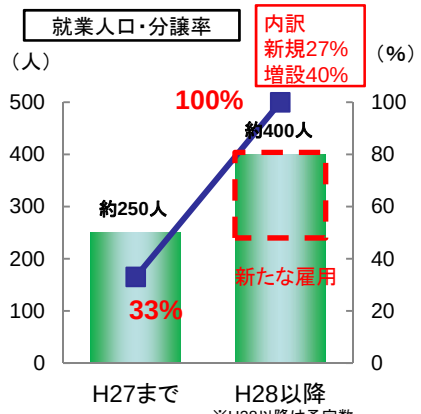


【整備効果】
〇4車線化により、交通混雑の緩和が期待されます。
〇白石ICへのアクセス性向上により、企業立地・雇用の創出など企業活動の活性化を支援します。



▲工業団地立地状況（川根工業団地位置図）

▼国道4号の混雑状況



▲川根工業団地の就業人口、分譲率
資料：大河原町ヒアリング結果

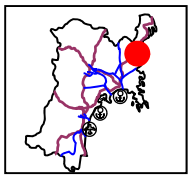
【平成30年度の事業内容】
全線4車線開通に向けて、改良工事、舗装工事等を実施します。

国道45号　三陸沿岸道路（歌津～本吉）

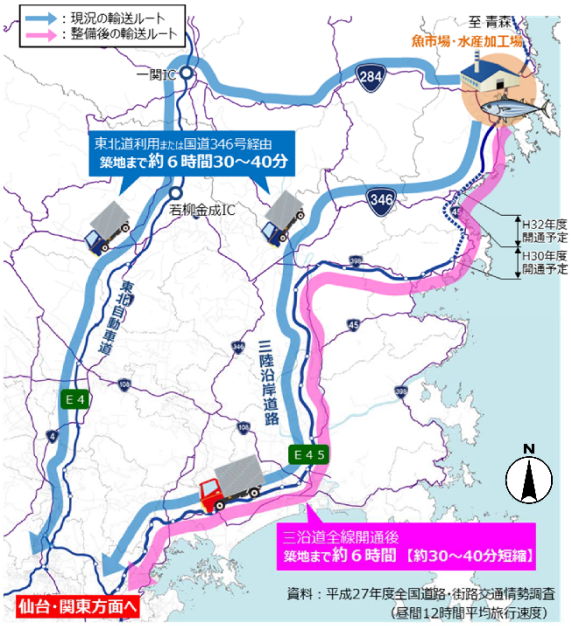
H30：9,358百万円

部分開通	宮城県本吉郡南三陸町～気仙沼市	道路	直轄

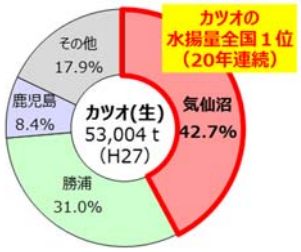
【事業の概要】
三陸沿岸道路（歌津～本吉）は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。

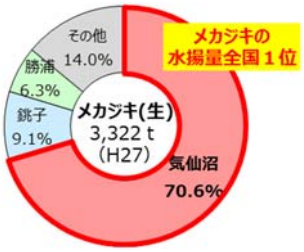


【整備効果】
〇輸送効率化により水産物等の品質向上が図られ、地域の基幹産業である水産業の復興加速化を支援します。



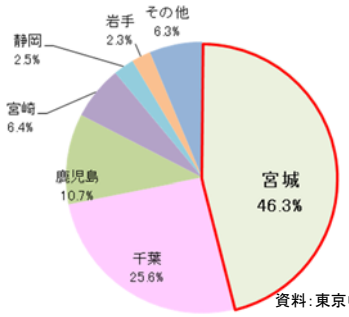
▲気仙沼市から仙台・関東方面への輸送ルートと所要時間





資料：2015年産地水産物流通調査

▲漁港別の水揚量シェア



資料：東京中央卸売市場HP

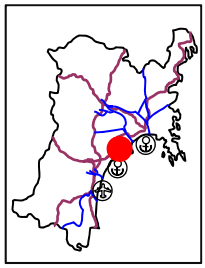
▲築地市場におけるカツオの取扱実績（H28）

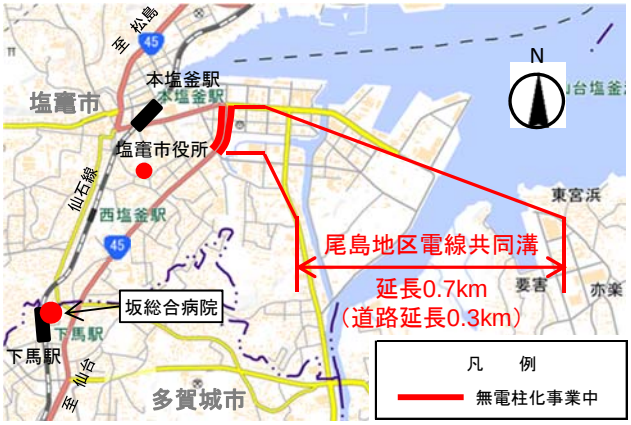
▲カツオの水揚状況

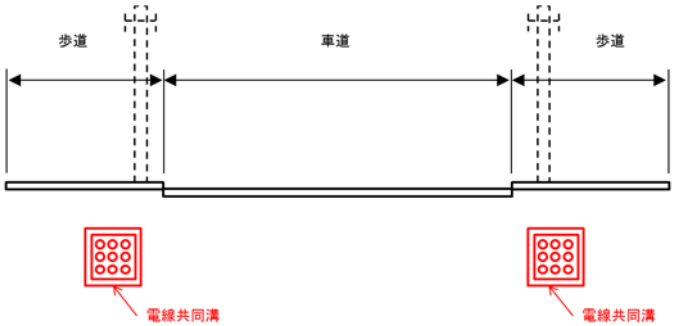
【平成30年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を実施します。

国道45号　宮城45号電線共同溝（尾島地区）		H30：49百万円	
完成	宮城県塩竈市	道路	直轄

【事業の概要】
　尾島地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化をすることで、震災時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。

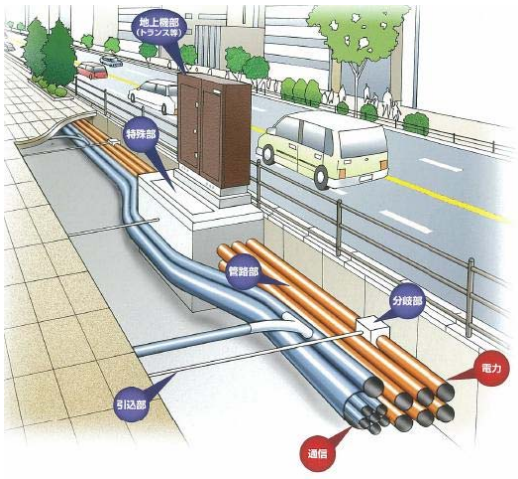






▲電線共同溝標準横断図

【整備効果】
　電線共同溝の整備により、景観の阻害要因となる電柱・電線をなくし、良好な景観を形成します。また、無電柱化により、歩道の有効幅員を広げることで、通行空間の安全性・快適性を確保します。さらに大規模災害が起きた際に電柱等が倒壊することによる道路の寸断を防止し、災害拠点病院への搬送経路を確保します。



▲電線共同溝整備イメージ図

▲現況

【平成30年度の事業内容】　路面復旧

10

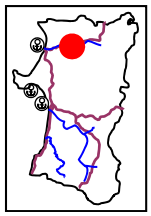
米代川（よねしろがわ）　河川改修事業（二ツ井（ふたつい）地区）

H30：732百万円※

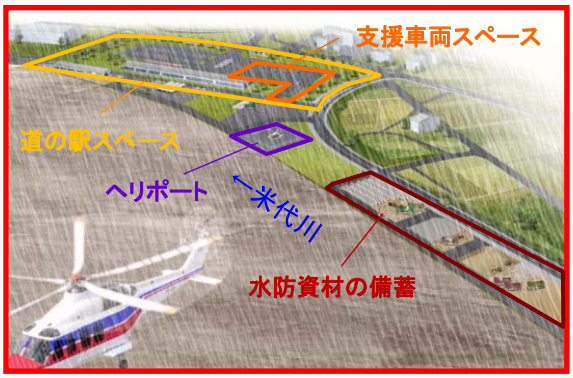
完成	秋田県能代（のしろ）市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
　平成19年9月、平成25年8月と近年連続して洪水被害を受けており、大規模災害に対応するため、緊急用備蓄資材や水防活動拠点の確保が急務となっていることから、河川防災ステーションを整備します。



【整備効果】
　災害時の水防活動拠点となるほか、高規格幹線道路を活用した秋田県北地域の広域的・総合的な防災拠点として活用できます。
　また、「道の駅」と一体整備することで、平常時には周辺の地域資源と一体となった交流拠点としても期待されます。



▲河川防災ステーション整備イメージ（災害時）

▲洪水時の状況　小繋（こつなぎ）地区　平成19年9月

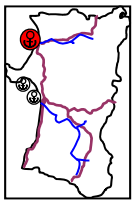
【平成30年度の事業内容】
　備蓄資材の整備を実施し、当該地区の事業を完成させます。

能代港（のしろ）　外港（がいこう）地区　防波堤整備事業

H30：232百万円

完成	秋田県能代（のしろ）市	港湾	直轄

【事業の概要】
・大型船舶の安定的な荷役を実現するために、静穏度を向上させる外港地区の防波堤（第二北）整備を進めます。



▲大森地区岸壁での荷役状況

【整備効果】
・防波堤の整備により港内の静穏度が向上し、荷役作業の安全性を確保します。
これにより、物流の円滑化やコスト縮減を図り、地域産業の競争力強化を支援します。

▲防波堤（第二北）整備状況（ケーソン据付）

▲防波堤（第二北）整備状況（上部工）

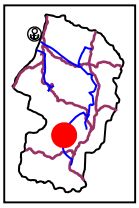
【平成30年度の事業内容】
・防波堤上部工を施工し、事業を完成させます。

最上川上流　河川改修事業（鮎貝地区）

H30：1,263百万円※			
完成	山形県西置賜郡白鷹町	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

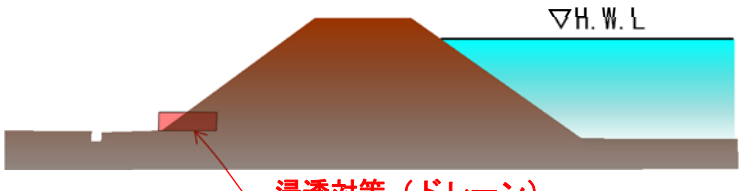
【事業の概要】
　平成27年9月関東・東北豪雨を受け策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組の一環である浸透対策を実施します。



【整備効果】
　当該地区からの氾濫により生じる浸水被害（家屋約250戸）を防止します。

施工状況

対策工法（イメージ）



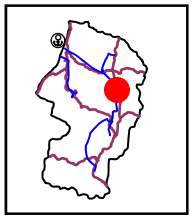
【平成30年度の事業内容】
　浸透対策を実施し、当該地区の事業を完成させます。

東北中央自動車道　東根（ひがしね）～尾花沢（おばなざわ）

H30：9,385百万円

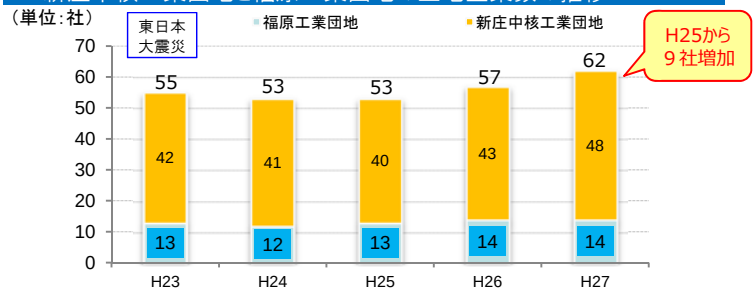
部分開通	山形県東根（ひがしね）市～尾花沢（おばなざわ）市	道路	直轄

【事業の概要】
東北中央自動車道（東根（ひがしね）～尾花沢（おばなざわ））区間は、東北中央自動車道の一部を形成し、広域的な交流・連携の促進や災害時における代替路線の確保、交通障害の解消等を目的とした高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。

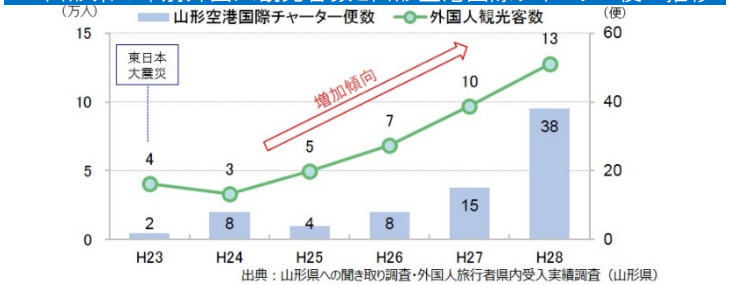


【整備効果】
〇物流の効率化により、沿線の地域産業の活性化を支援します。
〇移動時間の短縮が図られ、インバウンド観光振興を支援します。

■ 新庄中核工業団地と福原工業団地の立地企業数の推移



■ 山形県の年別外国人観光客数と山形空港国際チャーター便の推移



出典：山形県への聞き取り調査・外国人旅行者県内受入実績調査（山形県）

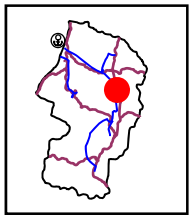
【平成30年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を実施します。

国道47号　新庄古口道路

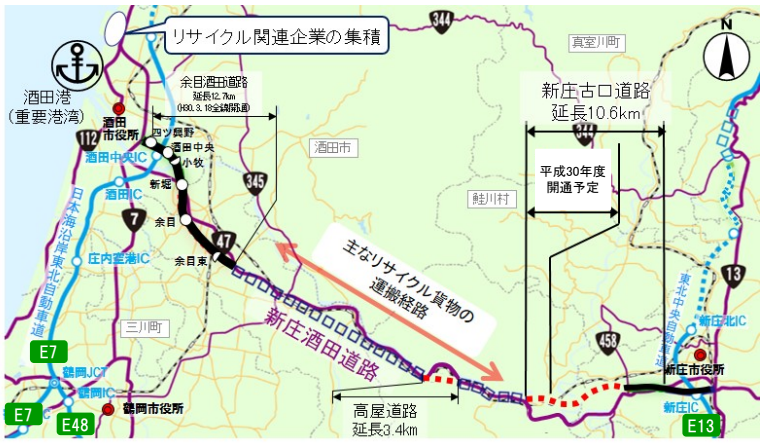
H30：3,238百万円

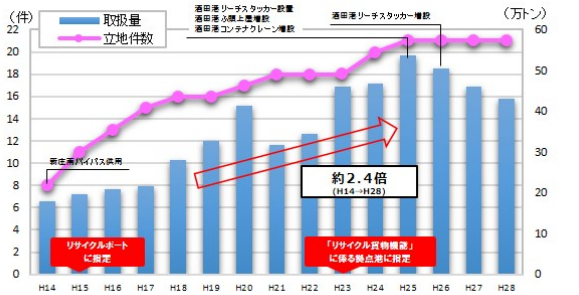
部分開通	山形県新庄市～最上郡戸沢村	道路	直轄

【事業の概要】
国道47号　新庄古口道路は、地域高規格道路「新庄酒田道路」の一部を構成し、並行する国道47号の交通混雑緩和、事前通行規制区間解消等を目的とした幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。



【整備効果】
〇酒田港へのアクセス性向上により、リサイクル関連の物流効率化と貨物取扱量増加が期待されます。
〇事前通行規制区間等を回避し、災害時でも安定した交通が確保されます。





▲酒田港後背地におけるリサイクル関連企業の立地件数とリサイクル貨物取扱量

▲国道47号新庄市本合海地区の被災状況（路面冠水）

【平成30年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、改良工事、橋梁工事、トンネル工事、舗装工事等を実施します。